

東津野スポーツ少年団

がんばった全国大会

『第30回全日本小学生男子ソフトボール大会』が、8月4日～8月8日に栃木県大田原市で開催され、東津野スポーツ少年団が高知県代表として出場しました。試合結果は、対戦相手の兵庫播州クラブ（兵庫県）に13対0と大敗をしましたが、日ごろの実力を発揮する難しさを知り、県



外チームの技術の高さを学ぶことができました。この経験を今後の活動に活かしていきたいと思えます。全国大会出場にあたり、たくさんの方から温かいご寄附やご声援を賜り、誠にありがとうございました。紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。（東津野スポーツ少年団保護者会）

第38回葉山センダン杯小学生野球大会
葉山メッツ2年連続準優勝!!

青少年の健全なる育成と地域活性化をメインテーマとしたこの大会が、今年は8月6日から4日間の日程で葉山運動公園・他8会場、県下59チームの参加により開催されました。

開会式の入場行進では、大会前に葉山メッツに加わった7人の新入部員と伴に、18人チーム全員で元氣一杯に行進ができました。

それまでの戦いを順当に勝ち進んだ葉山メッツは、準決勝で強豪の介良富士と対戦しました。初回、中久保のレフト前タイムリーで先制するも、その裏1点を奪われ同点に。その後は投手の小川の好投と好守により得点を与えないまま6回に。この回、先頭バッターとなった田中が、右中間に値千金のホームランを放ち1点を勝ち越して最終回を迎えました。相手バッターを簡単に打ち取りツーアウトを奪



好投を見せた小川投手



先制タイムリーを放つ中久保選手（決勝戦）



いましたが、ここからフォアボールとエラーにより一打逆転サヨナラ負けのピンチ。しかし、最後はエース小川の執念の力投により、相手バッターを三振にとり2・1の接戦を制しました。

続いて午後に行われた決勝戦の相手は、名門の旭SS。前年の準決勝で勝利しているものの実力的には相手の方が上でした。惜しくも負けましたが、二年連続準優勝というすばらしい結果を残してくれました。

主将の池田蓮が先頭となつてチームを引っ張り、大会期間中には下級生も大きく成長し、この夏に素晴らしいチームになりました。

また、今年も猛暑の中、たくさんの方が会場に足を運んでいただき、子ども達のプレーに一喜一憂して、最後まで

温かいご声援を賜りましたこと、お礼申し上げます。

そしてご協力いただいた皆さまにも心より感謝申し上げます。葉山メッツは、秋には6人の6年生が卒団して、新しく12人でスタートします。

入部したばかりの子どもが多く、これからチーム作りを始めていきます。少しでも野球に興味のある小学生は男女を問いませんので、一度、練習を見に来てください。

（葉山小学校以外でも歓迎）

保護者会会長 池田修平

090・7317・7449

葉山メッツ保護者一同



堂々と行進する葉山メッツ

1回戦	葉山メッツ 8 - 1 四万十川SS
2回戦	葉山メッツ 13 - 0 朝霧マシジャガーズ
3回戦	葉山メッツ 3 - 0 横浜SS
4回戦	葉山メッツ 6 - 3 戸波ドラゴンズ
準決勝戦	葉山メッツ 2 - 1 介良富士
決勝戦	葉山メッツ 1 - 4 旭SS

※SSはスポーツ少年団の略